



令和4年度くじらぐも放課後等デイサービス事業者自己評価結果

令和5年2月実施

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動に合わせて利用者一人一人のスペースを確保した環境設定を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・国で定められた基準に従って人員配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・玄関にわずかな段差があるため手すりを設置、室内に段差はない。 ・トイレには小児用補助便座を設置している。 ・情報伝達のためのホワイトボードと掲示板を設置している。 ・指導訓練室、静養室、事務室、浴室、トイレなど、入り口の扉にはサインを取り付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・週1回職員会議を行い、支援の目標設定と振り返りを行っている。 ・会議に参加することができなかった職員に対しても会議の内容を口頭とLINEWORKSを活用して伝達している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・前年度の評価をもとに事業改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価結果はホームページと利用者向けシステム（HUG）で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・利用者が契約している相談支援事業所の相談支援専門員から支援計画についての意見や支援内容の評価を受ける機会を設けている。 ・評価の結果を事業（支援）改善につなげている。

適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、事業所内研修5回実施。その他、外部研修、オンライン研修に多数参加。その都度研修報告書の作成と、報告会を開催し職員への共有を行っている。 （虐待防止、身体拘束禁止、防災、SST、障害児保育、強度行動障害支援者、サービス管理責任者等基礎、WISC、BCPなど）
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントのための面談の際は、児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に携わる職員も1名以上同席している。 ・利用者と保護者のニーズや課題を事業所全体で把握し、個別支援計画の作成と支援に活かしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・成長療育支援システム（HUG）のアセスメントツールを使用し、基本的事項・かかりつけ医・生活歴・主訴・要望・備考などについて詳しく記載している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスクラスの責任者を中心に、職員全員で活動プログラムの立案会議を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・日ごと、月ごとに振り返りを行い、発達に寄り添ったプログラムを実施するための改善を加えている。 ・前月からのステップアップが図れるプログラム作りと、成長につながる活動のための教材提供を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日、長期休暇に応じた、タイムスケジュールが設定されており、児童の発達や成長に必要な課題や季節にあった活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで次号発達支援・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には集団活動であるが、子どもと保護者の希望により個別活動を実施することもある。その際にはそれに合わせた支援計画を作成している。

適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時・昼礼時に、当日の利用者・職員の役割・特に配慮が必要な利用者の有無・活動プログラム・教材等の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後、職員全員で振り返りを行い、各自が気づきを共有し、次回の支援につなげている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・成長療育支援システム（HUG）を使って写真と文章で記録をとっている。 ・保護者は成長療育支援システム（HUG）のマイページからいつでも記録の確認ができる。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・おおよそ6ヶ月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が放課後等デイサービスのガイドラインのねらい及び支援内容を周知している。 ・保護者から個別支援計画の同意を必ず得ている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者と精通した職員1名以上が参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者または直接利用者が通う学校から「下校予定表」を受け取り、送迎が円滑に進むようにしている。 ・学校からの要望に応じて、相談支援専門員と連携して、事業所での様子を伝えるなど情報共有を密にして支援している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて相談支援専門員の仲立ちのもとに園との情報共有や相互理解を図っている。 • 令和5年4月より保育所等訪問支援事業をサービスに加える予定。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> • 現在は利用者全員がまだ小学生である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 他事業所の訪問や見学を行い連携を図ったり、研修に参加したりしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 今年度はコロナウイルス感染予防のため交流を自粛した。 • 隣接する公園で地域の小学生と一緒に遊ぶことはあった。 • 近くの児童館や図書館に出かける機会は数回あった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> • 参加できる組織を探したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 保護者が送迎で来所した際に、子どもの様子を伝えている。 • 日々のサービス提供記録(連絡帳)や面談の際に、利用者の成長や課題について相互に伝え合い、今後の活動プログラムについて共通理解がもてるように努めている。
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 利用者のよいところ(個性や長所)について共感しながら、家庭でできる取り組みや環境設定のヒントなどを知らせるように心がけている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> • 利用契約時に重要事項説明書の読み合わせを丁寧に行い、不明点がないかを確認している。

保護者への説明責任	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて相談支援を行い、悩みの原因を探りながら、有効的と思われる対応方法をアドバイスしている。 ・相談の内容は報告書にまとめ職員間で共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の活動で子どもたちが育てて収穫した野菜を使ってカレーを作る会を開催し、保護者を招待した。 ・保護者同士が日々の悩みや心配事を共有しアドバイスしあえる時間を作った。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や申入れを聞いた職員はそれを責任者に伝達し、迅速かつ適切な対応ができるように心がけている。 ・面談だけでなく、電話やメール（LINE）からも受け付け対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	年3回、「くじらぐも新聞」を発行し、地域への回覧、関係各所（保育所・子ども園・幼稚園・学校・相談支援事業所など）への配布、SNS（ホームページ・インスタグラム・Facebookページ）での公開を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には雇用契約時に秘密保持誓約書の提出を義務付けている。 ・利用者には利用契約時に個人情報の取り扱いについての説明をし、個人情報使用同意書を作成している。 ・SNSは保護者の決定事項を遵守し掲載している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や文字だけでなく、絵表示や写真などを用い、良好な意思疎通や情報伝達ができるように心がけている。 ・今後はトーキングマットの活用を考えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回「くじらぐも新聞」を発行し地域に回覧することで事業運営を知らせている。 ・地域在住の元看護師の女性が週3回ボランティアとして支援の手伝いをしてくれており心強く感じている。 ・現在はコロナ禍であるため自粛しているが、将来的には地域との交流を深めたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルは保護者がいつでも確認できるように、ファイリングしてロビーに設置している。 成長療育支援システム（HUG）のマイページからも閲覧できるようにしている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 年2回、利用者参加（小学生以上）で訓練を行っている。 持ち出し用防災グッズの点検を定期的に行っている。 BCP（業務継続計画）の策定に着手している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止マニュアルの作成、虐待防止委員会の設立、所内虐待防止研修会を行った。 責任者がオンライン研修に参加し、職員に対して報告会を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束禁止マニュアルの作成、身体拘束禁止委員会の設立、身体拘束禁止研修会を行った。 責任者がオンライン研修に参加し、職員に対して報告会を行った。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの際にアレルギーの有無を確認している。 児童発達支援においては事業所から食品を提供することはないが、用意する際にはアレルギーフリーの食品を選び、保護者に確認の上、提供しようと考えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> 報告書作成後に、事例検討会を開き、発生原因や改善点について話し合い、事業所としての決定事項を職員全員が把握し、同じヒヤリハットが起らないように努めている。